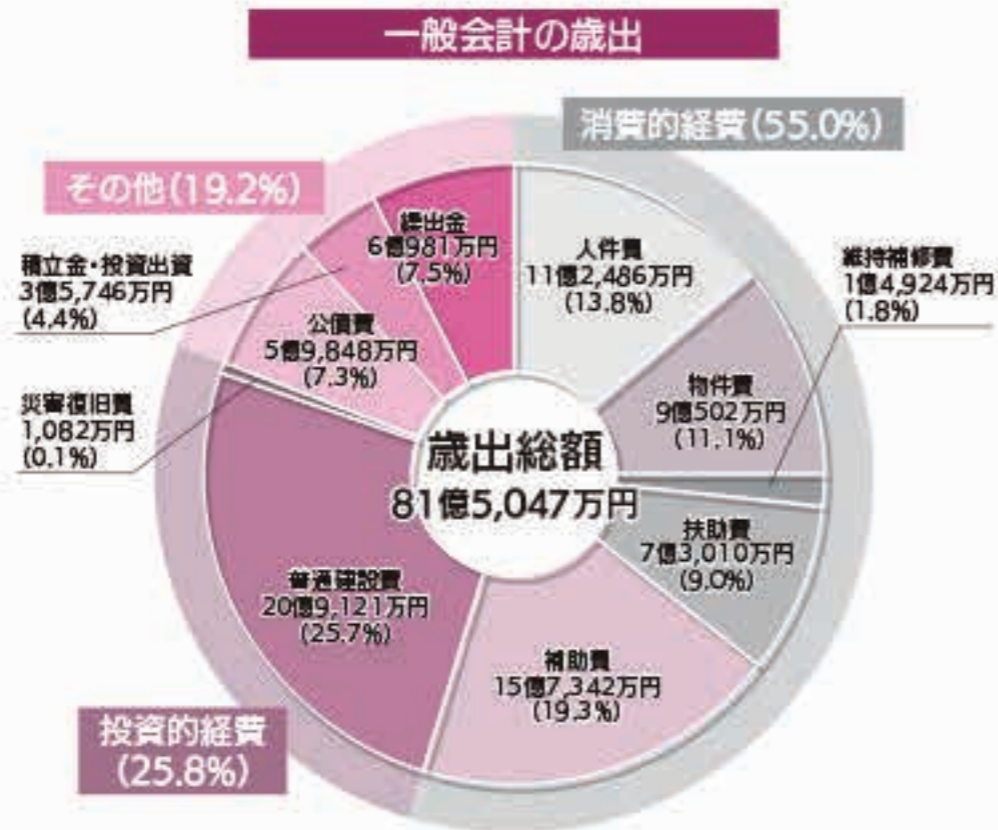
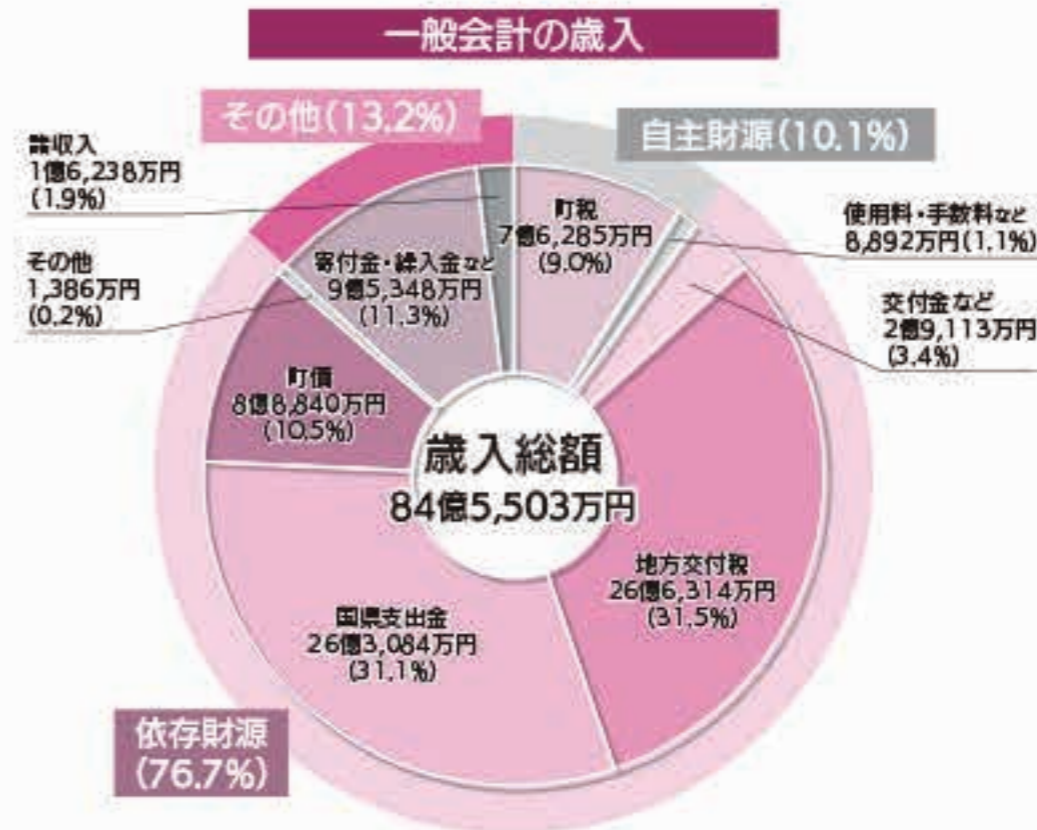


新型コロナウイルス感染症対策や  
五城目小学校新校舎の建設などに  
81億5,047万円

令和2年度各会計決算が、町議会9月定例会で認定されました。  
今月号では、その概要と昨年度実施した主な事業などをお知らせします。



五城目小学校新校舎が、令和2年10月末に完成④。敷地内には学童施設⑤や地域図書室「わーくる」を併設⑥。

特別会計決算		
会計	歳入	歳出
国民健康保険	11億5,496万円	11億3,445万円
後期高齢者医療	1億3,462万円	1億3,458万円
介護保険		
保険事業勘定	20億1,345万円	19億3,728万円
介護サービス事業勘定	386万円	386万円
障害認定事業	376万円	312万円
下水道事業	3億8,013万円	3億7,120万円
水道事業会計		
区分	歳入	歳出
収益的収支	2億871万円	2億1,540万円
資本的収支	2,468万円	1億1,764万円

健全化判断比率	決算比率	早期健全化基準
実質赤字比率	—	15.00%
連結実質赤字比率	—	20.00%
実質公債費比率	10.5%	25.0%
将来負担比率	85.7%	350.0%

- 実質赤字比率 一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率。
- 連結実質赤字比率 全会計を対象とした実質赤字（または資金不足額）の標準財政規模に対する比率。
- 実質公債費比率 歳入に対する負債返済の割合。
- 将来負担比率 一般会計等が将来負担すべき債務が標準財政規模の何倍あるか表すもの。 ※実質赤字比率、連結実質赤字比率は、赤字額が生じていないため「-（該当なし）」の表示をしています。

**一般会計の実質収支額は3億345万円**  
令和2年度一般会計では、歳入額が84億5,503万円、歳出額が81億5,047万円、それぞれ過去最高となり、また、翌年度へ繰り越すべき財源111万円を差し引いた実質収支額は3億345万円の黒字となりました。  
財政の健全化を示す指標の実質公債費比率は10.5%、将来負担比率は85.7%で、それぞれ基準とされている25.0%、350.0%を下回っており、当町の財政は「健全」と判断されています。

**五城目小新校舎の建設に16億402万円**  
予算の主な使いみちについては、五城目小学校新校舎の建設に16億402万円、新型コロナウイルス感染症対策として実施した「オール五城目応援商品券事業」に9,655万円、「あったか生活応援事業」に3,798万円、「健康づくり応援事業」に2,251万円、そのほか、町道の整備事業に6,710万円、除雪事業に9,847万円など、経常経費の削減に努めながら各種事業を実施しました。

**各特別会計は黒字決算**  
このほか、6つの特別会計も黒字決算となりました。  
また、水道事業会計は、簡易水道統合に伴う減価償却費、浄水設備の更新、および企業債償還金の費用増加などにより、純損失の額は668万円となりました。

- 予算の主な使いみち (令和2年度)**
- ▶五城目小学校改築事業 ……16億402万円  
五城目小学校を雀館運動公園敷地内に移転。
  - ▶学童施設改築事業 ……1億809万円  
五城目小学校新校舎敷地内に学童施設を併設。
  - ▶オール五城目応援商品券事業 ……9,655万円  
町内の登録店で使用可能な商品券1万円分を全町民へ配布しました。

- ▶あったか生活応援事業 ……3,798万円  
町内の世帯へ灯油引換券1万円分を支給しました。
- ▶健康づくり応援事業 ……2,251万円  
季節性インフルエンザの予防接種が無料になるクーポン券を全町民に支給しました。
- ▶地方道路整備事業 ……6,710万円  
町道雀館幹線や町道小学校通線、町道五城目外環状線の舗装改良工事などを行いました。
- ▶除雪事業 ……9,847万円  
冬期間の除雪により、町道の交通を確保しました。